

今、教育委員は！

平成28年8月
教育委員 鈴木 祥子

今月のテーマ：感動と体験の中で学ぶ

【歌と愛情があふれる家庭 ～世界的テノール歌手の父に学ぶ～】

世界的テノール歌手 中島康晴さん、佐久市に祖父母がいるため小さい頃はよく遊びにきたそうです。そんな中島さんのリサイタルが7月18日に佐久市交流センターで行われました。素晴らしい歌声に拍手が鳴りやまず、アンコール4回とスタンディングオベーションで幕を閉じました。どんな風に育てると、こんなにも人を感動させる素晴らしい歌手に育つのでしょうか。リサイタルには中島さんのご両親がいらして



いましたので、お父様に「子育てで大切にされていたことは何ですか」とお聞きしたところ「何にも特別なことはしていませんよ、ただ歌と一緒に歌っていただけです」。歌と愛情あふれる家庭で歌の楽しさを知り→そこに本人の努力が重なり→世界的テノール歌手として活躍！さて我が家は何があふれる家庭でしょうか・・・。

【教育委員会の動き】

1 子どもまつり ～親子で体験ものづくり～ 大盛況！

7月3日野沢会館で「佐久市 子どもまつり」が行われ、約1,500人のたくさんのお子様たちや親子で賑わいました。「わりばし鉄砲」や「指あみ手芸」など、ものづくり体験型のお祭りです。特にお父さんが子どもに作り方を教える頼もしい姿が多く見られました。子育てする男性を「イクメン」と呼ぶ言葉が生まれたように、子育てに積極的に参加する父親が増えました。しかし子ども

の年齢が上がると父親の子育て参加は消極的になるという傾向があるようです。若いイクメンだけでなく、40代50代のイクメンも増えて欲しいですね。



佐久市少年センター育成推進協議会・補導委員協議会の皆さんたちと一緒に、ジュニアリーダーの子どもたちも子どもまつりの運営に参加し大活躍！このジュニアリーダー28

年度生の研修は6月から始まりました。これから様々な体験学習を通して経験を積んで、人間性豊かなリーダーになるべく頑張っているところです。たくさんの方が集まるお祭りの運営は大変でしたが、良い経験になりました。これからも頑張りたいです。

今回私は約10年振りに娘と参加しました。当時は幼稚園生でしたが、「スライム」や「エコバックづくり」などを覚えていて『懐かしいね』と「子どもまつり」の上書き保存をしました。楽しいものづくり体験は、子どもの記憶に深く刻まれるのかも知れませんね。

2 佐久市浅間会館 起工式

浅間会館は築49年で老朽化が進み、以前から建替え要望が出されていたため、全面改築が行われます。7月9日に起工式がありました。新しい施設は、大小会議室、音楽室、図書室兼学習室、料理講習室、浅間出張所などを設置し、

「学習・習得・地域交流の空間」を提供します。竣工は29年7月31日予定です。周辺の市民の皆さまには何かとご迷惑をおかけすることになりますが、温かいご支援とご協力をお願いいたします。工事の安全を願いながら、完成を心待ちにしています。

3 葉祥明アート展 8月28日まで開催

きっと一度は目にしたことがあるでしょう、犬のジェイクシリーズなどで人気の絵本作家 葉祥明さん。小説「東京タワー（リリー・フランキー著）」で紹介された『母親というものは』の詩人としても知られています。葉祥明さんの絵本は、美しく穏やかな絵と、生きるエネルギーにあふれる言葉で、強くそして優しく包んでくれます。開会式の時にお話をさせて頂きました。私の子どもの年齢を聞かれ「17歳と14歳、思春期真っただなかです」と答えると、「お母さんは、でんっと構えていなさい！！」と微笑んでいました。短い言葉の中

に絵本と同じ、強さと優しさを感じました。葉祥明アート展～絵本と絵画と言葉の世界～ 小さなお子さんから楽しめますので、ぜひご家族でご覧下さい。
中学生以下は無料です。